

令和7年度地域力向上ミーティング

地区	番号	質問	回答 ※特に記載がない場合の回答者は市長	担当部署	分野1	分野2	備考
安中	1	中宿で燈籠人形をしている。何しろ高齢で、毎回仮設の人形小屋を作るのが地元の大工さんで、ボランティアでやってもらっている。できれば常設の小屋を考えてもらえないか。	今回24年ぶりに復活上演会があるということで、国指定重要無形民俗文化財でもあるので、何か国や県の補助など探しながら応援したいと思う。継続するのは非常に大変だと思うが、保存会の方々とも相談しながら、いい方策を考えていきたい。	文化財課	その他		
安中	2	高齢者ごみ出しサポート事業について、91歳の女性と引きこもりの息子がいて、息子はごみ出しなど家のことに非協力的なので、ごみ出しサポート事業に申し込みたかったのだが、二人暮らしはまだだと市の窓口で言われた。本当に必要としている人がいるので、そのような家庭の事情も組み入れてもらえたと思う。	この制度は10月から本格導入したばかりで、実際に窓口からすると、ルールに基づいてやるというのがその時の対応だったのだと思う。民生委員さんは地域の事情もよくわかっていると思うので、気づいたことがあればまた教えていただき、今後、柔軟に対応できるように検討したい。	高齢者支援課 環境政策課	環境関係		【環境政策課・高齢者支援課】 高齢者ごみ出しサポート事業につきましては、利用条件の見直しなどを含め、今後、検討してまいります。
安中	3	ブランド力向上について。どんなストーリー性をもって売り出していくのかが重要になってくる。安中市で言えば磯部温泉の温泉水を活用するなど、何かもう一段階踏み込んだストーリー性を持つことが他と競合するうえで必要になるのではないか。	販売促進、農業振興に繋げるために、JAと協力して考えていく必要があると思う。アーモンドやオリーブなど、試験的に取り組んでいるので、何かこれだとうものがあればまた提案してもらえばありがたい。 【みりょく創出部長】 安中市の独特な優位性を農作物についてブランド化するというが一番大事だと思っている。その中で、今年度中に協議会を立ち上げる予定で、農協をはじめ、マーケティング等に詳しい知見のある方にも入っていただき、今後の安中市のブランド化を進めていきたい。	農林課	農業振興		
安中	4	安中市は有害鳥獣の捕獲頭数が県内でもトップだと思うので、それをポジティブに考えて、「食」に生かせないか。飲食店と協力して、市のブランディングができるといいと思う。	ジビエ料理はかなり大事だと思う。提携している高崎市の飲食店には、安中市で捕獲した鹿肉を提供、販売している。安中市内には、そのように鹿肉を提供しているところがまだないはずなので、できれば市内で、地場産で飲食店と連携できればと思う。 【みりょく創出部長】 鹿肉については非常にクセも少なく、食べやすい食材だと思うので、今後安中市内の飲食店でジビエをしてくださるところがあれば、市としても連携をしていきたい。	農林課	有害鳥獣対策		【農林課】 群馬県における野生鳥獣肉の利用については、福島原発事故に伴う放射性物質や、CSF(豚熱)の影響により出荷が制限されていて、難しい部分もありますが、今後は、被害防止のために捕獲を進めるだけでなく、地域資源(ジビエ)として利活用し、農山村の所得に変えるような、有害鳥獣を「マイナス」の存在から「プラス」の存在に変える取り組みを進めてまいります。
安中	5	大河原良雄(おおかわら よしお)さんという、オーストラリア大使やアメリカ大使などをやつた方のご実家が、今、中宿の公民館になっていると思うが、もし、かるたなど新しく作るのであれば、ぜひ教育の中に大河原さんの話を使っていただけたらと思う。	中宿公民館のところは、大河原良雄さんが土地を寄付してくださったという経緯があります。大事な場所なので、区や保存会とも話していきたいと思う。	生涯学習課	その他		(安中市図書館にコーナーあり)

令和7年度地域力向上ミーティング

地区	番号	質問	回答 ※特に記載がない場合の回答者は市長	担当部署	分野1	分野2	備考
安中	6	旅がらすというお菓子の中に、磯部の鉱泉が入っているということを、大人になるまで知らなかつた。結構人気で、この鉱泉をペットボトルに入れて持ち帰る人もいるらしく、その鉱泉で湯豆腐を作るとすごく滑らかで美味しいという話もある。意外と安中市民も知らないと思うので、もう少しアピールしてもいいと思う。	地元の人も知らないことがあるので、もっとPRしていく必要があると思う。	観光課	観光		
安中	7	以前、ロマネスコを「安中ロマン」というブランドで軽井沢に卸している方がいて、だいぶ高齢で今もやっているかはわからないが、結構特徴的な形をしているので、そのロマネスコが軽井沢に売れるならいいと思う。	見た目が非常に面白く、一時期人気があった。何か良い料理方法が開発できればいいと思う。JAと協力して考えていきたい。	農林課	農業振興		【農林課】 安中市ブランド協議会(仮称)の立ち上げを進めており、野菜や米などのブランド化等について検討を進める中で、地域の特色にあった野菜を推していきたいと考えています。
安中	8	有害鳥獣について、九十九地区でICTわなをやっていたと思うが、もっと活用していくといいと思う。また、千葉では、捕まえたものを仕留める体験会とかがあつたりするので、物として出荷できなくても、そういう体験とかを主催するのもいいのかと思う。	担い手不足、狩猟者が少ないということがあり、なかなか全体のイノシシの罠を見回るのが大変だということがある。ICTわなは、うまく掛かっていなくても鳴るなど不具合も時折あるので、そこを改善してもっと良くなれば、担い手不足にも対応できると思う。体験会については、調べて今後検討したいと思う。	農林課	有害鳥獣対策		【農林課】 有害鳥獣対策でのICT利活用については、今年度、狩猟者の罠の見回りを軽減する目的で、捕獲通報装置を120基購入しました。九十九地区だけでなく、全地区的狩猟者に御利用いただいております。今後も担い手不足に対応するため、様々なICTを利活用できればと考えております。
安中	9	自分の子どもが少年野球をやっているのだが、人数が少なく毎年チームが続けられるかの心配がある。プロによる指導教室開催といふところで、もし野球をまだやっていなければ、ぜひ子どもたちのモチベーションにもなり、すごく喜ぶと思うので、そういう機会を設けてもらえたと思う。 【教育長】 子どもの夢応援事業は、文化とスポーツを一年交代で実施している。子どもたちの刺激になると思うので、ぜひ機会があれば参加していただきたい。	教育委員会主催の子どもの夢応援事業で3年前に、ヤクルトスワローズの元プロ野球選手に来ていただき、子どもたちへの直接指導と指導者との意見交換を行った。プロ選手から直接指導や話が聞けるのは非常に大事だと思うので、今後野球を取り入れていきたいと思う。	スポーツ課 生涯学習課	教育関係		【生涯学習課】 スポーツや芸術文化などで活躍する講師を招聘し「子どもの夢応援事業」を行っています。今後も子どもたちの将来の夢に応えられるよう、引き続き事業を進めていきたい。
安中	10	安中市には室内遊び場がないので、今後、新しいまちづくりという点で視野に入れていただきたい。	室内で子どもたちが遊べる、また親子で遊べる場所というのは大事だと思う。真夏や雨の日でも遊べる場所がつくれたらいいと思う。	こども課	子育て関係		【こども課】 既存施設の活用は有効な手段です。たとえば、体育館などの開放も検討できるのではないか。

令和7年度地域力向上ミーティング

地区	番号	質問	回答 ※特に記載がない場合の回答者は市長	担当部署	分野1	分野2	備考
安中	11	育成会がない地域があるので、子どもたちが上毛かるたに触れる機会が減り、上毛かるたを知らないで大人になる子も出てくるのかもしれない。小学校でもう少し積極的にかるたに触れる機会を実施してもらいたら、もっとかるたを身近に楽しいものだと思ってもらえるのではないか。	育成会がない地域の子どものために、上毛かるた大会に出られるよう昨年から予選会を実施している。そこを突破すれば安中市の本選に出られるということになる。上毛かるたに触れる機会を設けて、かるたに親しんでもらいたい。 【教育長】 今新しい安中かるたを制作中だが、社会科の勉強の一つにも使えると思う。競技としてのかるたという考え方もあるが、安中のことをもっと知つてもらう勉強の一つの教材として、できるだけ学校でも活用してもらえるように、学校へ呼びかけていきたいと思う。	生涯学習課	教育関係		【生涯学習課】 教育委員会では、育成会の休止等により上毛かるた大会に出場できない子どもたちのため、令和6年度より本選の予選会を行っておりまます。地域の子どもたちが上毛かるたに親しめる機会が持てるよう今後も事業を進めていきたい。
安中	12	児童館や児童センターが安中市にないのはなぜか。安中市が魅力あるまちになるために、子どもたちに目を向けてほしいと思う。	児童館や児童センターは必要だと思う。なぜ今まで安中市になかったのかは、他に優先することがあってやむを得ずできなかったのかもしれない。子どもたちへの投資というのは未来への投資にも繋がるので、そういう施策を推進していきたいと思う。	こども課	子育て関係		